

# 会 議 録

会議の名称	平成 28 年度 大和郡山市移動等円滑化推進協議会
開催日時	平成 28 年 6 月 3 日(金) 10:30~12:00
開催場所	大和郡山市市民交流館 3F 大会議室
事務局	大和郡山市 都市建設部 都市計画課
出席者	委員 【学識経験者】春名委員（会長）、柳原委員（副会長）、馬場委員 【障がい者団体】藤本委員、出口委員、花房委員、須川委員 【公共交通事業者】西本委員 【奈良県公安委員会】増田委員 【関係行政機関】清良井委員、木村委員 【市職員】西尾委員、北森委員、東田委員
	関係者 奈良県警察本部交通規制課より 1 名 郡山警察署交通課より 1 名 奈良県郡山土木事務所より 1 名
	事務局 都市計画課 森、近藤
欠席委員	小高委員、植村委員、大野委員、松尾委員、松浦委員、谷村委員、山田委員、上田委員、中尾委員
議 事	1. 特定事業経過報告について 2. 意見交換、その他

## 1. 開会

事務局)

お待たせいたしました。定刻となりましたので、ただ今より「平成28年度大和郡山市移動等円滑化推進協議会」を開催させていただきます。委員の皆様におかれましては、何かとお忙しい中、本会議にご出席を賜り、誠にありがとうございます。

なお、本日の協議会でございますが、委員総数23名の内14名の出席をいただいておりますので、当協議会運営要綱第6条第3項の規定により、会議が成立しておりますことをご報告申し上げます。

まずはじめに、当協議会会長の春名様よりご挨拶いただきます。

春名会長)

春名でございます。年に1回、進捗状況の報告ということでお顔合わせをするわけでございます。ここで検討していただくバリアフリーについては、高度経済成長時代の置き忘れを改善していこうということですが、近年では、これをまちづくりの中に組み入れて事業化をすることが常識的になっています。そこで、この協議会は皆様で事業をチェックして注文を付けていこうという位置づけでございます。その意味では、

まちづくりの中にここでの検討内容を取り入れることを念頭に置いて、活発な議論をお願いしたいと思います。

事務局)

ありがとうございました。

それでは、議事に入ります前に、お手元の資料のご確認をお願いいたします。

#### 【資料確認】

##### ①議事次第

②資料1：大和郡山市移動等円滑化推進協議会委員名簿、運営要綱

③資料2：バリアフリー事業の進捗状況調書

④資料3：バリアフリー状況写真

⑤参考資料：大和郡山市移動等円滑化推進協議会の傍聴に関する基準

大和郡山市附属機関設置条例

大和郡山市バリアフリー基本構想概要版

また、本日が初めての方もおられますので、委員の皆様のご紹介をさせていただきます。委員名簿をご覧くださいませでしょうか。

一般社団法人 地域マネジメントセンター 代表理事 春名攻 様でございます。

近畿大学 理工学部 社会環境工学科 准教授 柳原崇男 様でございます。

兵庫県立大学防災教育センター 准教授 馬場美智子 様でございます。

大和郡山市 高友クラブ連合会 会長 小高亨 様は本日欠席でございます。

大和郡山市 社会福祉協議会 会長代行 藤本賢司 様でございます。

大和郡山市 地域自立支援協議会 出口裕生 様でございます。

大和郡山市 地域自立支援協議会 花房康好 様でございます。

大和郡山市 地域自立支援協議会 須川弥由基 様でございます。

大和郡山市 自治連合会会長 植村俊博 様は本日欠席でございます。

近畿日本鉄道(株) 大阪統括部 大野隆 様は本日欠席でございます。

西日本旅客鉄道(株) 近畿統括本部 松尾優 様は本日欠席でございます。

奈良交通(株) 乗合事業部(運行管理)課長 西本多満男 様でございます。

奈良県警察本部 交通規制課長 松浦克仁 様は本日欠席でございます。

郡山警察署 交通課長 増田成彦 様でございます。

国土交通省 近畿運輸局奈良運輸支局 清良井利之 様でございます。

奈良県 県土マネジメント部 道路環境課長 木村道仁 様でございます。

奈良県 郡山土木事務所長 谷村浩 様は本日欠席でございます。

大和郡山市 総務部長 西尾卓哉 委員でございます。

大和郡山市 福祉健康づくり部長 山田弥壽次 委員は本日欠席でございます。

大和郡山市 産業振興部長 上田亮 委員は本日欠席でございます。

大和郡山市 教育部長 中尾誠人 委員は本日欠席でございます。

大和郡山市 都市建設部長 北森正一 委員でございます。

大和郡山市 都市計画課長 東田完 委員でございます。

それでは、これより議事につきましては、当協議会運営要綱第6条第2項に基づきまして、春名会長に議長をお願いしたいと思います。春名会長、よろしく願いいたします。

## 2. 議事1. 「特定事業経過報告について」

春名会長)

議事に入ります前に、本日は傍聴者がおられないので、このまま進めたいと思います。まず議事1.の特定事業経過報告について〔資料2〕〔資料3〕に基づいて事務局より説明願います。

事務局)

それでは、お手元の資料2と資料3と合わせて説明させていただきます。

### 【特定事業経過報告についての説明】

## 3. 議題3. 「意見交換、その他」

春名会長)

幅広い範囲の進捗状況の説明をいただきましたが、ご質問等はございますでしょうか。

柳原副会長)

バリアフリーにおいてはP D C Aサイクルのスパイラルアップが必要になると思います。そこで、事前にまたは事後にチェックされているのか、何点か伺いたいと思います。

まず、今日はJ Rの担当の方は来られていないのですが、J R郡山駅で音声音響案内装置を設置されていますが、障がい者の方のチェックはされておられるのか。次に道路特定事業ですが、市道の歩道改良工事が予定されていますが、事前にもしくは、詳細設計が出てきた時点で障がい者の方に確認しながら進められているのか。最後に、三の丸駐車場ですが、これは事前に障がい者の方の声を確認して整備して頂いたとのことですが、実際の利用状況はどうなっているのか。これはマナーの問題ですが、健常者が停めているので障がい者が停められないといった問題があります。そこで何か運用面で工夫されていることがあれば教えて頂きたいと思います。

春名会長)

まずは事務局から説明願います。

事務局)

J R 郡山駅ですが、公共交通機関で移動される際の中心施設となりますので、大和郡山市でも補助金メニューを用意しまして、積極的にバリアフリーを進めて頂いている状況です。ご質問のチェック機能ですが、バリアフリー基本構想の中でバリアフリーチェックシステムというものを作っておりますが、あまり利用して頂いていないというのが現状です。今回の整備は、音声音響案内装置の設置ということで、J R での位置に設置するという基準を持っておられるようで、J R 郡山駅につきましては、事前に障がい者の方に確認しているというのは聞いておりません。

2点目の市道の改良工事に関してですが、設計段階、工事の段階でバリアフリーチェックシステムを取り入れるように事業担当課に説明したいと考えております。

3点目の三の丸駐車場ですが、社会福祉協議会で運営されており、障がい者団体と結びつきが強い運営母体であります。全く無かったところに、2台分の身体障がい者用のスペースを設けて、今回、さらに設置の要望があったのに応えて設置したものです。自走式立体駐車場であるため、なかなか平らなスペースが無く、車いすでの移動が難しいまたは、エレベーターの近くに駐車スペースを確保して欲しい、スペースの幅を確保して欲しい等、障がい者の方と一緒に検討して位置を決定したと聞いております。

春名会長)

J R 郡山駅については、障がい者の方に確認しているのか聞いておいて下さい。

それでは、障がい者団体からも来て頂いておりますので、ご意見を願います。

藤本委員)

社会福祉協議会で三の丸駐車場を運営しております。障がい者用の駐車スペースを設けておりますが、床面に大きなシールを貼っており、車を停めるとパトライトと音声案内で知らせるといようなものを設置しています。また、この駐車場は有人の駐車場であり、音が鳴ると、利用者が障がい者かどうか直接確認しておりますが、これまでは健常者が停めるといことはありませんでした。

出口委員)

障がい者施策を考える自立支援協議会の就労部会の出口でございます。私達の部会で出てきた話ですが、障がいを持っておられる方が通勤で公共交通機関を利用するなかで、バスを使っている電動車いすの方が通勤されることがあります。奈良交通でも、低床車両を投入して頂いておるのですが、その方の通勤の時間に低床車両が来ないということがあったり、ノンステップバスが来ても、歩道に段差があって利用しにくいということがあると聞いております。

今ではハード面、ソフト面において、ノーマライゼーションが当たり前の社会になってきています。そのような設備が整ってきているが故にちょっとした、細かい部分に目がいくようになってきています。

また、せっかく整備したものを運用面においても上手く活用できるように行政側にも検討して頂きたいと思っています。

春名会長)

問題がある箇所の情報を収集して、それを行政側に伝える機会があればいいと思います。また、まちづくりを行う実施段階でこれらを解決する仕組みがあればと思います。

花房委員)

放課後等デイサービスといいまして、小学校1年生から高校3年生までの子供を放課後に預かる施設の運用をしております。

事業報告を聞いておりまして、県道奈良大和郡山斑鳩線ですが、私も九条町に住んでおりまして、この道を南北に渡ることの難しさを感じております。その中でも、(近鉄線の)踏切からファミリーマートまでの間が一番危険を感じております。

また、駐車場の障がい者スペースに車を停める人が増えているように思います。これはマナーの問題ですので、なかなか難しいと思いますが、例えば警察で指導するようなことは出来るのでしょうか。(ここは障がい者)専用スペースですよという機運を盛り上げればと思います。

春名会長)

県道の整備について市ではどのように考えておられますか。

事務局)

県道奈良大和郡山斑鳩線は奈良県の事業であるため、計画を聞いている範囲ですが、近鉄九条駅から南に下る道路と城廻り線の交差点の少し東側から徐々に地下になり、近鉄線を越えて天理教の辺りで地上に上がってくる計画で聞いております。

現在の城廻り線を通り交通する車は、地下を通ることになりますが、現在の道路がなくなるわけではなく、こおりやま城ホール、市役所、アスモなど近鉄郡山駅方面へ来られる方は近鉄三の丸線に入って来ることとなります。

また、通学路についても影響のある箇所は担当課と検討していく必要があると考えています。

春名会長)

第2点目の駐車場の障がい者スペースの件ですが、モラルの問題なのかなと思いますが法規上で規制をすることはできないのですね。

増田委員)

駐車場となると、道路交通法の規制が及ばないので取り締まることは出来ません。警察で停めないで下さいと声を掛けることは出来ますが、直ちに強制力を持たせるというものではありません。

柳原副会長)

宮崎県ではパーキングパーミット制度というものがあまして、これは、許可証を交付して障がい者スペースは許可証を持っている人だけが停められるというものです。これに罰則規定はないのですが、駐車場に許可証を持っている人だけが停められる注意書きがあることによって、ある程度の抑制にはなっています。

また、大和郡山市のイオンでは分からないですが、ゲートを設けて、イオンで障がい者の方が申し込むとゲートを開けるチケットがもらえるという設備を導入しているところもあります。

呼びかけだけでモラルに頼るのは限界があるので、このような方法も1つなのかなと思います。

春名会長)

公有地では、罰則規定を設けて規制をすることはなかなか難しいと思います。市民の皆さんで話し合う場を作って貰うのも1つの手かとも思います。そのような話題を盛り上げれば、停めにくくなるのではないかと思います。

須川委員)

障がい者の生活介護の事業所で働いております須川です。暮らし部会の部会長をしております、バリアフリーの事業報告を聞いておりますと、暮らし部会で話が出てくる箇所については既に何らかの計画があるのだなと思っています。

事業所を利用される方の中にもバスで買い物に行かれる方がおられるのですが、自分の乗れるバスが来なくて、何台か待つこともあるということを聞いております。今回、この事業報告を見ていると奈良交通で低床バスを追加投入して頂いているのが分かり、バリアフリーのまちづくりが進んでいることが良く分かりました。

また、時間やお金を掛けて行う事業なので、障がい者の方に検証してもらい、より良いまちづくりをしてもらえたらと思います。

春名会長)

それではバスの話題が出ましたので、奈良交通の方にお話頂きたいと思います。

西本委員)

バリアフリー法が出来てからは、基本的にノンステップバスを投入しております。全てのバスを一度に替えることは出来ないなので、計画しながら徐々に替えていっています。

以前のバスは扉が車両の前と後ろにありましたが、今のノンステップバスは前と真ん中についています。現在の近鉄郡山駅のバスターミナルは以前のバスに合わせて、後ろ側に点字ブロックがある状態になっているのですが、真ん中から乗るノンステップバスに合わせて点字ブロックを設置してもらおうように市の担当にも要望しているところです。

春名委員)

次に、信号の問題でいかがでしょうか。

奈良県警本部交通規制課)

最近、警視庁ではタッチセンサーでの信号機も開発されています。まだ警察庁の承認は得ていないのですが、今後は音声で誘導して、タッチセンサーを利用するというような流れになってくるのではないかと考えています。

また、実現には時間が掛かるとは思いますが、視覚障がいの方は黄色と赤が識別しにくいということですので、赤の信号の中に青の×（バツテン）が表示され、視覚障がい者の方だけに見える様な信号機がメーカーでは研究中であると聞いております。

春名会長)

それでは、国土交通省および奈良県からも来て頂いていますのでお伺いしますが、今回の協議会について説明や意見はありますでしょうか。

木村委員)

奈良県としても、この事業エリアについては積極的に事業を進めているところです。

基本的には、道路の段差解消や支障物の撤去、バスの構造の変更に伴い、点字ブロックの位置が合わない等、現状に合わないところは解消して参りたいと考えています。

また、健常者ではなかなか分からない部分もありますので、身障者にとって不都合なところ、例えば具体的な場所やどう改善すればいいのか、その意見を聞いて、市と連携して事業を進めたいと思っています。

清良井委員)

国でのバリアフリーの対応は車両についてのものにして、奈良交通のノンステップバスの投入に国としても補助金で支援をしているところです。台数が増えたら、なかなか低床バスが来ないという問題も解消されるのではと思っています。

春名会長)

私がいつも申し上げていることですが、ここでの議論をまちづくりと合わせていくことが必要と思っています。近鉄郡山駅周辺の新しいまちづくりが始まっていると聞いていますが、問題点や改善点の意見を聴取して大きな視点でバリアフリーとどう結びつけていくかという問題もあります。

では、当協議会の当初から関わっておられ、防災の専門家でもある馬場委員より意見を聞きたいと思えます。

馬場委員)

熊本で地震が発生し、安全・安心への関心が高まってきております。どこで地震が発生するか分からないので、安全なまちづくりは重要な課題となっています。

ハード面では良くなってきており、整備されていない部分が目立つということもあります。また、安全・安心という観点からすると、障がい者や高齢者を対象とした共助という観点が大切になると思えます。また特定事業者の事業を進めながら、商業者や住民が自ら出来ることを少しずつすることでまち全体が良くなるということがあります。特に一人一人が出来ることを考え、お互いに呼びかけをすることを地域に根付かせ、お互いを気遣うまちづくりが安全・安心にも繋がると考えています。

春名会長)

このまちでされているのか市に確認したいのですが、災害時の避難行動は、障がい者や高齢者が非常に重要になります。バリアフリーのまちづくりの中に取り入れれないといけないと思えますが、どのようになっていますか。

事務局)

防災面ですが、大和郡山市役所の庁舎も老朽化し、他人事ではないのですが、バリアフリー基本構想を作成する際に障がい者や独居老人のための災害時の緊急連絡網は市民安全課で検討はされていますが、まだ作成されていない状況です。

バリアフリー基本構想を平成23年に策定し、約5年経過していますが、策定の際にタウンウォッチングということで、視覚障がいや聴覚障がい等、障がいを持っている方と一緒にまちを歩いて頂いて問題点を指摘して貰いました。また、これからですが奈良県と共同で行う近鉄郡山駅周辺のまちづくりにおいても、防災面を考慮しながら、ソフト面も組み入れて計画を進めていきたいと考えております。

春名委員)

防災というと、災害を防ぐことに目がいきますが、実際に事が起こった時にどのような行動を取ったら良いのか分からなくなるので、避難や安全を確保する体制は普段から考えておかないといけないことです。今回のバリアフリーにもその様な施策を入れて貰いたかったのですが、次の段階と言わず準備をして貰わないといけないと思えます。また、まちづくりを行う時に、例えば道路を一つ改良するときも、住民の皆さんの意向を勘案して頂くたいと思えます。

時間も来ましたので、ここで柳原副会長のご意見を頂きたいと思えます。

柳原副会長)

色々な進捗状況を報告して頂き、概ね順調に進んでいるのかなと思っています。他



の市では、基本構想を作成したままなかなか進まず、住民からどうなっているのかと言われている所もあると聞いています。

大和郡山市の場合、年1回、進捗状況の報告を受けております。まだあまり活用されていないようですが、これからはチェックシステムも活用して頂き、同じ造るならぜひ良いものを造ってほしいと思います。

また、災害時に障がい者の方が避難できない、避難した後も避難所で生活しづらいけど、家にはなかなか戻れないので、苦労されている話を聞いております。今後は平時からこれらのことを考えておかないと発災時に対応が出来ないので、このあたりを盛り込んでやって頂きたいと思います。

春名会長)

本日の議事を終了したいと思いますが、事務局から連絡等がありますか。

事務局)

先ほども話しましたが、近鉄郡山駅周辺でのまちづくりが奈良県との共同で動き出しております。バリアフリー基本構想を策定する際にも意見が多かったのですが、駅前周辺、特にバスターミナルが奈良交通の低床車両に対応出来ていないという問題があります。ただし、バスターミナルの整備と近鉄郡山周辺整備を切り離して考えることが出来ません。

このあたりは今後、皆様の意見を聞きながら進めていきたいと思います。調査やアンケートをお願いすることもあるかと思いますが、その際は御協力の程よろしくお願ひします。

春名会長)

最後に市から部長に来て貰っていますので、何か説明等がありますでしょうか。

西尾委員)

総務部では、ソフト面では報告したように毎年継続して行っております。ハード面でいいますと、市庁舎ですが、かなり古く狭いということもありなかなか手を付けられない状況であるため、建て替えを検討しており5年以内に着工したいと考えています。その中で、バリアフリーや動線等を考慮して計画をして参りたいと思っています。

北森委員)

道路等ハード面の整備担当部としては、皆様の意見や実情を聞かせて頂いて、国や県の支援を得つつ近鉄郡山駅周辺の道路整備を進めて行きたいと思っています。

春名会長)

それでは、今回の協議会はこれで終了にしたいと思います。ありがとうございました。

